

事業名：民生委員連絡協議会補助金

福祉課 地域福祉係

| | | | | | | | | | |
|------|----------------------|------|---|--------------|-----|------|------|-----|--------|
| 政策 | 03 安心を感じる保健・医療・福祉の充実 | | | | | | | | |
| 施策 | 01 地域福祉の充実 | | | | | | | | |
| 基本事業 | 02 地域福祉活動の推進 | | | | | | | | |
| 開始年度 | — | 終了年度 | — | 実施計画 事業認定 | 非対象 | 会計区分 | 一般会計 | 補助金 | 団体運営補助 |

| 事務事業の目的と成果 | |
|--|--|
| 対象（誰、何に対して事業を行うのか） | |
| 民生委員児童委員連絡協議会 | |
| 手段（事務事業の内容、やり方） | |
| 「江別市民生委員児童委員活動費等補助金交付要綱」に基づき、活動費の一部について、予算の範囲内で市長が定めた額を補助する。 〈交付対象経費〉 ・協議会の活動費 ・事務諸費 ・事務局費 ・研修費 ・地区民協運営費 ・互助共済費 ・会費 ・負担金等 | |
| 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか） | |
| 研修会参加支援による民生委員児童委員の資質・知識・技能の向上を図るとともに、市内9地区の民生委員児童委員協議会（＝法定）間の円滑な連絡調整を図る。 | |

| 指標・事業費の推移 | | | | | | |
|-----------|---------------|----|--------|--------|--------|--------|
| 区分 | | 単位 | 23年度実績 | 24年度実績 | 25年度実績 | 26年度当初 |
| 対象指標1 | 民生委員数 | 人 | 248 | 248 | 248 | 248 |
| 対象指標2 | | | | | | |
| 活動指標1 | 補助金額 | 千円 | 9,355 | 9,355 | 9,355 | 9,355 |
| 活動指標2 | | | | | | |
| 成果指標1 | 民生委員の研修会参加延人数 | 人 | 375 | 635 | 639 | 537 |
| 成果指標2 | | | | | | |
| 事業費(A) | | 千円 | 9,355 | 9,355 | 9,355 | 9,355 |
| 正職員人件費(B) | | 千円 | 1,605 | 1,603 | 1,563 | 782 |
| 総事業費(A+B) | | 千円 | 10,960 | 10,958 | 10,918 | 10,137 |

| | 事業内容（主なもの） | 費用内訳（主なもの） |
|------|--|-------------------------------|
| 25年度 | 江別市民生委員児童委員連絡協議会の活動費（事務局費、研修費、地区民協運営費など）の一部に対し補助金を支出 | 江別市民生委員児童委員連絡協議会への補助金 9,355千円 |

| | |
|--|--|
| 事業を取り巻く環境変化 | |
| 事業開始背景 | |
| | |
| 事業を取り巻く環境変化 | |
| 改正社会福祉法に地域福祉計画策定が位置付けられており、地域の民生委員はその主たる担い手となるため、その活動の活発化が一層求められてくることから、これまで以上の研修等の充実により、知識・技能を向上させる必要がある。 | |

平成25年度の実績による担当課の評価（平成26年度7月時点）

(1) 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

| | | |
|--------|----------|---|
| 妥当である | 理由 根拠 | 地域福祉において重要な役割を担う民生委員の知識・技能の向上とともに、9地区民協のレベル均一化、相互の機能・連携の強化が必要であり、個人の活動費（道費＝一人あたり年58,200円）に加えて、市が補助することには妥当性がある。 |
| 妥当性が低い | | |

(2) 上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

| | | |
|---------|----------|--|
| 貢献度大きい | 理由 根拠 | 民生委員サービスのレベル向上、民生委員活動の活発化のために、貢献度は大きい。 |
| 貢献度ふつう | | |
| 貢献度小さい | | |
| 基礎的事務事業 | | |

(3) 計画どおりに成果は上がっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？

| | | |
|----------------|----------|---|
| 上がっている | 理由 根拠 | 当補助により研修・会議は相当回数実施され、広く参加が図られており、技能・知識修得の度合は上がっていると考えられる。 |
| どちらかといえば上がっている | | |
| 上がらない | | |

(4) 成果が向上する余地（可能性）がありますか？その理由は何ですか？

| | | |
|-------------|----------|--|
| 成果向上余地 大 | 理由 根拠 | 当補助により研修・会議は相当回数実施され、広く参加が図られている状況にある。民生委員は、3年に一度の改選があることから、各委員の資質向上のため、知識、法及び制度改正に対応する必要があるため、成果が向上する余地はある。 |
| 成果向上余地 中 | | |
| 成果向上余地 小・なし | | |

(5) 現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する方法はありますか？

| | | |
|----|----------|--------------------------|
| ある | 理由 根拠 | 既に削減されており、これ以上の削減は困難である。 |
| なし | | |